

小児科のご紹介

小児科 副部長 白川 清吾

同愛記念病院小児科は、今年で62年の歴史ある都内でも有数の小児科です。現在は常勤医5名、全員日本小児科学会専門医であり、質の高い幅広い分野の小児科疾患に対応可能です。

小児科は「こどもの総合診療科」といわれ、細分化された成人診療科と比べ年齢や臓器別にとらわれず、新生児から思春期まで幅広い患者様やご家族のお悩みに対応します。特に当科は日本アレルギー学会指導医1名、専門医1名がおり、一般診療と並行して2016年4月から小児アレルギーセンターを開設し、最先端の小児アレルギー診療を提供しています。

●外来診療について

午前中は一般診療として、気管



小児科スタッフ一同

支炎、肺炎など呼吸器疾患、嘔吐、下痢、腹痛などの消化器疾患、頭痛、けいれん、神経疾患など、幅広い小児疾患に対応しています。感染性疾患が多いのも小児科の特徴です。感染症は突然の発熱や嘔吐、咳嗽などで発症しますので、予約なしでの外来受診も可能です。急病による直接来院の際は、診察前にご記入いただいた問診票に看護師が病状把握した上で、状態の悪い患者様については病状に応じて優先的に診療させていただきますのでご安心ください。ただし、予約外の軽症患者様には多少待ち時間が長くなる場合がありますので、ご了承ください。

当科の特徴であるアレルギー疾患に関しては、午前中の外来以外に小児アレルギーセンター初診外来（予約のみ）を開設しましたので、紹介状持参の方は電話予約の上、ぜひご利用ください。

また気管支喘息では思春期から青年期へ移行する患者様も少なくありません。それに応じて学校が終わってからも通える夕方の思春期喘息外来を設けています（火曜・予約のみ）。

午後の外来は専門外来として心臓外来（水曜）、神経外来（木曜）、心理外来（土曜）を、それぞれ小児循環器専門医、小児神経専門医、臨床心理士が担当しています。ご希望の

方はまず午前中の一般外来でご相談いただき予約をお取りします。予防接種は毎週火曜午後予約制で行っています。近年の定期接種ワクチンの増加と患者様の負担軽減を考慮し、今年度から複数ワクチン同時接種を行います。完全予約制ですので、平日午後には電話でのご予約をお受けしています。乳幼児健診に関しては、現在は当院出生の1ヵ月健診に限定させていただきます。

●入院診療について

当院7階病棟に小児専用病床10床を確保しています。同時に外科、整形外科、耳鼻科など他科の小児の受け入れも行っています。外来同様、小児科での入院は感染症が多く、病原によっては院内感染対策として個室隔離扱いとさせていただくこともあります。リスクの高い食物アレルギーに対する経口負荷試験は入院で行っています。

●時間外、救急診療について

地域に密着した医療の一環として、墨田区および墨田区医師会のご支援の下、「すみだ夜間平日こどもクリニック」を月曜から金曜の19時から22時（最終受付21時45分）に行っています。仕事帰りでお子様の急病などの際、ぜひご利用ください。

03-3625-1231（直通）

月曜から水曜の3日間は病院当直として24時間体制で小児科当直医が待機していますのでご相談ください。

休日に関しては現在、第1、第3、

第5の日曜の10時から14時（最終受付13時45分）のみ外来診療を行っています。その他の休日夜間診療には現在対応しておりません。

●その他院外活動など

当院小児科では墨田区（本所、向島保健センター）での3〜4ヵ月乳児健診、およびアレルギー健診、墨田区での喘息児のためのデイキャンプ活動に協力しています。また、小児科、アレルギー関連の学会や研究会での活動も積極的に行っており、鶏卵および牛乳アレルギーに対する経皮免疫療法は、臨床試験の段階ではありますが、他施設では取り組んでいない当科独自の治療法です。難治の食物アレルギーでお困りの方はご相談ください。

今後ともよろしくお願いたします。



プレイルーム

病院の中には医師や看護師の他に、レントゲン・CT・MRIなどを扱う診療放射線技師、血液や細菌検査・心電図や脳波などの検査を行う臨床検査技師、リハビリテーションを行う理学・作業療法士など、さまざまな職種が働いています。

「臨床工学技士」も病院で働く医療技術者です。医師以外の診療補助に従事する看護師や各種の医療技術者は、メディカルスタッフと呼ばれます。臨床工学技士はメディカルスタッフの1職種であり、医療と工学を持ち合わせた医療機器のスペシャリストです。

前号に続き、手術室の臨床工学技士の仕事について紹介します。

手術室業務は臨床工学技士の業務の中で比較的新しい業務です。もともと手術室の医療機器は医師や看護師が扱っていましたが、技術の進歩により

高度化・複雑化した医療機器が増え、医師や看護師の負担になりました。そこで医療機器のスペシャリストである臨床工学技士が、医療機器の操作・保守管理を行うことにより、医師や看護師は本来の業務である手術や看護に専念でき、より質の高い医療の提供が可能になりました。

同愛記念病院では2013年から手術室に専属の臨床工学技士を配置して、医療機器の安全性向上に取り組んでいます。

手術室には多種類の医療機器が存在し、それぞれが専門性の高い医療機器です。臨床工学技士は、手術が円滑かつ安全に行われるように、限られた医療機器の中で手術の内容に合わせた医療機器の配置や準備をしたり、手術室内の医療機器の操作や点検を行います。

今回は、その中で毎年件数が増加し

ている、内視鏡手術業務を紹介させていただきます。

内視鏡手術は体に数カ所の小さな穴を開け、そこからスコープで覗き、専用の器械を用いて行う手術です。傷も小さく体への負担も少ないことから入院期間も短く患者様にやさしい手術ですが、術者にとってはスコープからの限られた映像と狭い体の中での操作は熟練を要する難しい手術です。

最新の内視鏡は、癌を見やすくする特殊な光、高画質の4K、立体的に映す3D、1台で数人分の作業ができる内視鏡手術支援ロボットなどの技術で、医師のサポートをしています。当院でも2014年6月に手術支援ロボットdaVinciを導入し、2017年3月時点で167症例を行っています。

臨床工学技士は手術前に内視鏡システムの点検と設定を行います。手術前点検は特に重要で、手術支援ロボットの点検は前日と当日の2回実施して手術に臨んでいます。手術中は、医療機器に異常が無いか見回りをしたり、機器の操作をします。トラブル発生時には迅速に対応し、手術後は使用したカメラ・スコープ・器械などの点検をします。内視鏡はわずかな傷や破損でも手術に影響するため、点検には専用の検査機器を使用します。

手術は医師だけではなく、麻酔科医師・看護師・クラーク・助手など多くの職種がいて成り立ち、臨床工学技士はその一翼を担う職業です。



内視鏡



手術支援ロボット1



手術支援ロボット2



麻酔器

同愛記念病院の理念

同愛記念病院は地域の要請をふまえ地区の基幹病院として親切で適切な医療を提供し社会に貢献します。

〈診療科目のご案内〉

循環器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、一般内科、神経科・精神科、アレルギー・呼吸器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

〈病床数〉403床

■交通案内

JR総武線 両国駅(西口)から徒歩7分
都営地下鉄浅草線 蔵前駅から徒歩10分
都営地下鉄大江戸線 両国駅から徒歩5分
●都営バス (錦糸町～大塚駅)石原1丁目停留所から徒歩3分

当院では外来予約制です。

初診/ (月～金)午前8時30分～正午(紹介状のある方は午後3時)
(土) 午前8時30分～午前11時
再診/ご予約のない方:自動再来受付機にて午前8時30分～正午
次回のご予約は診察後にお申し込みください。
休診日/日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)



社会福祉法人 同愛記念病院財団

同愛記念病院

〒130-8587 東京都墨田区横網2丁目1番11号
TEL. 03-3625-6381(代) FAX. 03-5608-3211